

1. 略歴

- 1994年3月 京都大学文学部史学科（西南アジア史学専攻）卒業
- 1996年3月 京都大学大学院文学研究科東洋史学（西南アジア史学）専攻修士課程修了
- 1996年4月 京都大学大学院文学研究科歴史文化学専攻（西南アジア史学専修）博士後期課程進学
- 1997年11月 テヘラン大学文学部史学科博士課程留学
- 2002年3月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学
- 2002年4月 京都大学研修員
- 2002年8月 バンベルク大学人文学部イラン学科留学
- 2003年4月 日本学術振興会特別研究員 PD
- 2005年11月 博士（文学）学位取得（京都大学）
- 2006年4月 北海道大学大学院文学研究科歴史地域文化学専修・東洋史学講座 助教授
- 2007年4月 北海道大学大学院文学研究科 准教授
- 2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

西アジア史、イラン史、宗教社会史

b 研究課題

シーア派の聖地巡礼や死者を聖地に埋葬する「移葬」など、西アジアの宗教社会史的研究を主たる研究課題としている。近年は、アルメニア人などの宗教マイノリティにみるイスラーム社会や、ムスリム側から見た仏教やキリスト教といった異文化接触に関心があり、また、多様な人びとからなる西アジアの都市社会の比較検討を行っている。

c 概要と自己評価

2018年度から始まった新学術領域研究「都市文明の本質」の計画研究班代表として、イスラーム時代の西アジア都市に関する研究を進めている。個人研究での主な対象はサファヴィー朝期の首都イスファハーンであるが、イラク・シリア・エジプト・中央アジア等、国内外の都市研究の専門家との国際交流に積極的に取り組んでいる。また、西アジア・イスラーム社会の中の異教徒に関する研究を進めるとともに、ライフワークでもある「移葬」や「聖地巡礼」に関して研究成果の発表に努めている。2019年には、日本の西アジア史研究の歴史と研究動向について英語論文としてまとめた。

d 主要業績

(1) 著書

- 共著、島田竜登編、『1683年 近世世界の変容（歴史の転換期7）』、山川出版社、2018.12
- 共著、山口昭彦編、『クルド人を知るための55章』、明石書店、2019.1
- 共著、永原陽子編、『人々がつなぐ世界史』（MINERVA 世界史叢書4）、ミネルヴァ書房、2019.8

(2) 論文

- 守川知子、「移葬の心性史——シーア派イスラーム社会における死者の聖地巡礼」、『比較文明』、34、27-44頁、2018.11
- 守川知子、「あるアルメニア人改宗者の遍歴にみる宗教と近世社会」、島田竜登編『1683年 近世世界の変容』（歴史の転換期7）、山川出版社、64-109頁、2018.12
- 守川知子、「東西両大国のはざままで——オスマン＝イラン国境画定に翻弄されるクルド人」、山口昭彦編『クルド人を知るための55章』、明石書店、62-66頁、2019.1
- 守川知子、「近世西アジア社会における「異教徒」と宗教的社会変容」、「2018年度大学研究助成 アジア歴史研究報告書」、135-155頁、2019.3
- 守川知子、「サファヴィー朝下のイスファハーンと新ジュルファー——近世西アジア都市の非ムスリム街区」、新学術領域研究『都市文明の本質——古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究1』、研究成果報告2018年度、163-172頁、2019.3
- Tomoko Morikawa、「The Study of West Asian History in Japan: A Historical Review and Recent Developments」、『Acta Asiatica (Bulletin of the Institute of Eastern Culture)』、117、<Eastern Studies Emanating from the East: Its Diversity and Possibilities>、pp. 63-74、2019.8

守川知子、「近世イランの王都の中のキャラバンサライ——『イスファハーンのキャラバンサライ案内』を中心に」、
新学術領域研究『都市文明の本質——古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究2』、研究成果報告2019
年度、207-221 頁、2020.3

(3) 学会発表

国内、守川知子、「17 世紀後半のアルメニア人ネットワーク——二人の商人の軌跡から」、近世ユーラシアにおける
宗教・交易ネットワークとアルメニア人、2018.6.16

国内、守川知子、「異邦人・異教徒として生きる——近世世界を旅したアルメニア人改宗ムスリム」、2018 年度朝日
講座「『居場所』の未来」、東京大学、2018.10.31

国際、Tomoko Morikawa、「An Armenian Merchant Family from New Julfa in the Seventeenth and Early Eighteenth Centuries」、
Maritime Monsoon Asia in the Early Modern Period: Global Trade and Early European Colonial Cities、The University of
Tokyo、2019.1.19

国際、Tomoko Morikawa、「Intermediary Agents Between Europe and Iran: Armenian Merchants in the 17th Century」、
International Conference on Safavid Studies: Cultural Relations of Iran and Europe in the Safavid era、Esfahan University、
Esfahan (Iran)、2019.4.28

国際、Tomoko Morikawa、「From New Julfa of Isfahan to the World: Armenian Trade Network and a Non-Muslim Quarter in a
Capital City」、International Workshop: “Network and Urban Landscape in Historical Perspective”、American University in
Cairo (Egypt)、2019.8.24

国際、Tomoko Morikawa、「Abgar Valijanjan and his Life as a *Jadīd al-Islām*: A Shi’ite Armenian in the late seventeenth century」、
Ninth European Conference of Iranian Studies (ECIS9)、Freie Universität Berlin (Germany)、2019.9.9

国内、守川知子、「『ジャディード・アル=イスラーム (*Jadīd al-Islām*)』として生きたあるアルメニア人改宗者の生
涯——個人・家族・国家と近世西アジアの宗教マイノリティ」、第 295 回北大東洋史談話会、北海道大学、2019.9.25

国際、Tomoko Morikawa、「Pilgrimages and Holidays in Global History」、Workshop: Categories at Work in Global History、
University of Warwick (United Kingdom)、2019.10.17

国内、守川知子、「シーア派イスラーム社会のイマーム崇敬と聖廟巡礼」、スペイン史学会第 41 回大会、慶應義塾大
学日吉キャンパス、2019.11.2

国内、守川知子、「シーア派ムスリムのみた 17 世紀の仏教世界——サファヴィー朝使節団とシャム」、第 43 回龍谷
大学東洋史学研究会研究大会、龍谷大学、2019.11.22

国内、守川知子、「聖都アルダビールとサファヴィー朝——サフィー廟を中心に」、2019 年度公開研究会「アルダビ
ール再考：前近代イランにおけるタリーカ・聖者廟・都市」、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、
2020.2.15

(4) 会議主催(チェア他)

国際、「Frontiers in Asia」、主催、Università degli Studi di Napoli “L’Orientale (Italy)、2018.6.29～2018.6.30

国際、「Baghdad, a 1400 year old city in West Asia」、主催、The University of Tokyo、2019.1.29

国際、「Network and Urban Landscape in Historical Perspective」、主催、American University in Cairo、Library of Alexandria
(Egypt)、2019.8.24～2019.8.26

国際、「Sasanian Cities」、主催、The University of Tokyo、2020.2.19

(5) 研究テーマ

文部科学省補助金、新学術領域研究、守川知子、研究代表者、「中世から近代の西アジア・イスラーム都市の構造に
関する歴史学的研究」、(新学術領域研究(研究領域提案型)「都市文明の本質——古代西アジアにおける都市の
発生と変容の学際研究」)、2018～

科学研究費(挑戦的研究(萌芽))、守川知子、研究代表者、「シーア派イスラームの聖廟・墓地の形成と発展：法理
論と地理空間情報による総合的研究」、2017～

科学研究費(基盤研究(B))、守川知子、研究代表者、「近世ユーラシアにおける宗教・交易ネットワークとアルメ
ニア人」、2017～

二国間交流事業オープンパートナーシップ共同研究、守川知子、研究代表者、「信仰・交易と移動ルートに見る近世
アジア社会のダイナミズム、2017.4～2019.3

3. 主な社会活動

(1) 学会等

国内、東洋史研究会、評議員、2016.11～

国内、日本中東学会、評議員、2017.4～

国内、東方学会、学術委員、2019.6～

国内、史学会、編集委員、2019.7～

国内、東洋文庫、兼任研究員

国内、内陸アジア史学会、理事、2018.10～